社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員　ユニット（教授）

【部局名：環境情報研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員	教　育	授業科目の担当状況【学部】（全学教育科目含む）	0.5	【5：特に優れている】 専門科目を61コマ以上担当し、さらに全学教育科目を8コマ以上あるいは副専攻科目を8コマ以上担当した。 【4：水準を上回っている】 すべての科目で61コマ以上担当した。 【3：水準に達している】 すべての科目で31コマ～60コマ担当した。 【2：改善の余地がある】 すべての科目で30コマ以下を担当した。 【1：問題があり改善を要する】 学部の講義科目を担当していない。
		授業科目の担当状況【大学院】	0.5	【5：特に優れている】 すべての科目で72コマ以上担当した。 【4：水準を上回っている】 すべての科目で45コマ～71コマ担当した。 【3：水準に達している】 すべての科目で21コマ～44コマ担当した。 【2：改善の余地がある】 すべての科目で20コマ以下担当した。 【1：問題があり改善を要する】 大学院の科目を担当していない。
		卒業研究指導状況	0.4	【5：特に優れている】 前年度5名以上指導した。 【4：水準を上回っている】 前年度名4名指導した。 【3：水準に達している】 前年度2～3名指導した。 【2：改善の余地がある】 前年度1名指導した。 【1：問題があり改善を要する】 前年度の指導なし。
		博士課程前期研究指導状況	0.4	【5：特に優れている】 博士課程前期の学生を7名以上指導し、修士論文の成果を含む査読付き学術論文が2件以上掲載され、研究成果を講演会等で4件以上を 【4：水準を上回っている】 博士課程前期の学生を4名～6名指導し、修士論文の成果を含む査読付き学術論文が1件以上掲載、または研究成果を講演会等で2件以上発表した。 【3：水準に達している】 博士課程前期の学生を2名～3名指導し、研究成果を講演会等で1件以上発表した。 【2：改善の余地がある】 博士課程前期の学生を1名指導した。 【1：問題があり改善を要する】 博士課程前期の学生を指導しなかった。
		博士課程後期研究指導状況	0.4	【5：特に優れている】 博士課程後期の学生を4名以上指導し、博士論文の成果として博士論文の成果を公表するための査読付き学術論文が2件以上掲載され、研究成果を講演会等で6件以上を発表した。 【4：水準を上回っている】 博士課程後期の学生を3名指導し、博士論文の成果を公表するための査読付き学術論文が1件以上掲載、研究成果を講演会等で2件以上発 【3：水準に達している】 博士課程後期の学生を2名指導し、研究成果を講演会等で1件以上発表した。 【2：改善の余地がある】 博士課程後期の学生を1名指導した。 【1：問題があり改善を要する】 博士課程後期の学生を指導しなかった。
		留学生の受入状況	0.1	【5：特に優れている】 留学生、研究生を5名以上受け入れた。 【4：水準を上回っている】 留学生、研究生を3名～4名受け入れた。 【3：水準に達している】 留学生、研究生を2名受け入れた。 【2：改善の余地がある】 留学生、研究生を1名受け入れた。 【1：問題があり改善を要する】 留学生、研究生を受け入れなかった。

社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員　ユニット（教授）

【部局名：環境情報研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員	教　育	教育方法の改善に関する取組状況	0.1	【5：特に優れている】 取組みや活動、成果の状況が非常に優れている。 【4：水準を上回っている】 取組みや活動、成果の状況が優れている。 【3：水準に達している】 取組みや活動、成果の状況が良好である。 【2：改善の余地がある】 取組みや活動状況に問題があり、成果が得られていない。 【1：問題があり改善を要する】 取組みが見られない。
		その他の教育活動	0.1	【5：特に優れている】 上記の評価項目以外の教育活動において、前年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で3件以上あった。あるいは、両者の合計が3件以上あった。 【4：水準を上回っている】 上記の評価項目以外の教育活動において、前年度特筆すべき活動を2件行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で2件あった。あるいは、両者の合計が2件あった。 【3：水準に達している】 上記の評価項目以外の教育活動において、前年度特筆すべき活動を1件以上行った。または、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動が過去5年間で1件あった。 【2：改善の余地がある】 上記の評価項目以外の教育活動において、前年度特筆すべき活動を行わなかった。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動も過去5年間でなかった。 【1：問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の教育活動において、これまで特筆すべき活動を行ったことがない。また、ウエイトをゼロとした評価項目に相当する活動もこれまで行ったことがない。

社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員　ユニット（教授）

【部局名：環境情報研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員	研　究	学術雑誌等の論文公表の状況	0.5	【5：特に優れている】 過去3年間に査読付き学術論文10編以上発表した。またはh-indexが30以上である。 【4：水準を上回っている】 過去3年間に査読付き学術論文を6編～9編発表した。またはh-indexが11～29である。 【3：水準に達している】 過去3年間に査読付き学術論文を3編～5編発表した。またはh-indexが5～10である。 【2：改善の余地がある】 査読付き学術論文を1編～2編発表した。 【1：問題があり改善を要する】 査読付き学術論文を発表しなかった。
		学術専門書等の執筆、編集の状況	0.2	【5：特に優れている】 過去3年間に学術専門書を単著で1冊以上、共著・分担で3冊以上執筆・編集した。 【4：水準を上回っている】 過去3年間に単著・共著・分担の学術専門書等を3冊執筆・編集した。 【3：水準に達している】 過去3年間に単著・共著・分担の学術専門書等を2冊執筆・編集した。 【2：改善の余地がある】 過去3年間に単著・共著・分担の学術専門書等を1冊執筆・編集した。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に学術専門書の執筆・編集はしなかった。
		解説、総説等の公表状況	0.2	【5：特に優れている】 過去3年間に解説、総説等を4編以上公表した。 【4：水準を上回っている】 過去3年間に解説、総説等を3編公表した。 【3：水準に達している】 過去3年間に解説、総説等を2編公表した。 【2：改善の余地がある】 過去3年間に解説、総説等を1編公表した。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に解説、総説等を公表しなかった。
		建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	0	【5：特に優れている】 実績のある場合には，その他の研究活動で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】
		特許出願状況	0.1	【5：特に優れている】 過去3年間で4件以上出願した。 【4：水準を上回っている】 過去3年間で3件出願した。 【3：水準に達している】 過去3年間で2件出願した。 【2：改善の余地がある】 過去3年間で1件出願した。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に特許の出願はしなかった。
		学術賞等の受賞の状況	0	【5：特に優れている】 該当する場合はその他の研究活動で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】
		学会発表、講演等の状況	0.3	【5：特に優れている】 過去3年間で10件以上学会発表、講演等を行った。 【4：水準を上回っている】 過去3年間で7件～9件学会発表、講演等を行った。 【3：水準に達している】 過去3年間で4件～6件学会発表、講演等を行った。 【2：改善の余地がある】 過去3年間で1件～3件学会発表、講演等を行った。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に学会発表、講演等は行っていない。

社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員　ユニット（教授）

【部局名：環境情報研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員	研　究	学術調査、研究報告等の活動状況	0.1	【5：特に優れている】 過去3年間で学術調査、研究報告等を複数行った。 【4：水準を上回っている】 過去3年間で学術調査、研究報告等を1件行った。 【3：水準に達している】 過去3年間で学術調査、研究報告等の実績はない。 【2：改善の余地がある】 過去3年間で学術調査、研究報告等の実績はない。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間で学術調査、研究報告等の実績はない。
		科学研究費の申請、獲得状況	0.3	【5：特に優れている】 過去3年間に3件以上または500万円以上獲得した。 【4：水準を上回っている】 過去3年間に2件以上または300万円以上獲得した。 【3：水準に達している】 過去3年間に2件以上または100万円未満獲得した。 【2：改善の余地がある】 過去3年間に1件以上獲得した。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に科学研究費の申請・獲得はしていない。
		共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0.3	【5：特に優れている】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を3件以上または1千万以上を獲得した。 【4：水準を上回っている】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を2件以上または300万円以上獲得した。 【3：水準に達している】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を2件以上または100万円以上獲得した。 【2：改善の余地がある】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を1件以上獲得 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に、共同研究、受託研究費等の外部資金の獲得はない。
		その他の研究活動	0.1	【5：特に優れている】 上記の評価項目以外の研究活動において、前年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、学術賞等の受賞が過去3年間で3件以上あった。あるいは両者の合計が3件以上あった。 【4：水準を上回っている】 上記の評価項目以外の研究活動において、前年度特筆すべき活動を2件行った。または、学術賞等の受賞が過去3年間で2件あった。あるいは両者の合計が2件あった。 【3：水準に達している】 上記の評価項目以外の研究活動において、前年度特筆すべき活動を1件行った。または、学術賞等の受賞が過去3年間で1件あった。 【2：改善の余地がある】 上記の評価項目以外の研究活動において、前年度特筆すべき活動を行わなかった。また、学術賞等の受賞が過去3年間でなかった。 【1：問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の研究活動において、これまで特筆すべき活動を行ったことがない。また、学術賞等の受賞もこれまでになかった。

社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員　ユニット（教授）

【部局名：環境情報研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員	社会貢献	国、地方公共団体での活動状況	0	【5：特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】
		学会等の学術団体での活動状況	0.4	【5：特に優れている】 過去3年間で6件以上の活動実績があった。 【4：水準を上回っている】 過去3年間で4件～5件の活動実績があった。 【3：水準に達している】 過去3年間で2件～3件の活動実績があった。 【2：改善の余地がある】 過去3年間で1件の活動実績があった。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	0	【5：特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】
		産学連携活動（技術移転、技術相談等）の状況	0.2	【5：特に優れている】 過去3年間で7件以上活動実績があった。 【4：水準を上回っている】 過去3年間で4件～6件活動実績があった。 【3：水準に達している】 過去3年間で2件～3件活動実績があった。 【2：改善の余地がある】 過去3年間で1件活動実績があった。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。
		国際共同研究に関する活動状況	0	【5：特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】
		海外活動支援の状況	0.1	【5：特に優れている】 過去3年間で6件以上活動実績があった。 【4：水準を上回っている】 過去3年間で4件～5件活動実績があった。 【3：水準に達している】 過去3年間で2件～3件活動実績があった。 【2：改善の余地がある】 過去3年間で1件活動実績があった。 【1：問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。
		地域連携活動の状況	0	【5：特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】

社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員　ユニット（教授）

【部局名：環境情報研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	評価基準
	社会貢献	その他の社会貢献活動	0.2	【5：特に優れている】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、前年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、公開講座、生涯学習教育、国際共同研究に相当する活動を過去3年間に3件以上行った。あるいは、両者の合計が3件以上あった。 【4：水準を上回っている】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、前年度特筆すべき活動を2件行った。または、公開講座、生涯学習教育、国際共同研究に相当する活動を過去3年間に2件行った。あるいは、両者の合計が2件あった。 【3：水準に達している】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、前年度特筆すべき活動を1件行った。または、公開講座、生涯学習教育、国際共同研究に相当する活動を過去3年間に1件行った。 【2：改善の余地がある】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、前年度特筆すべき活動を行わなかった。また、公開講座、生涯学習教育、国際共同研究に相当する活動も過去3年間でなかった。 【1：問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の社会貢献活動において、これまで特筆すべき活動を行ったことがない。また、公開講座、生涯学習教育、国際共同研究に相当する活動もこれまで行ったことがない。

社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員　ユニット（教授）

【部局名：環境情報研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門（情報学系）情報環境専攻担当教員	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	0.5	【5：特に優れている】 過去3年間で3件以上の全学委員会等または7件以上の部局内委員会等を担当した。 【4：水準を上回っている】 過去3年間で2件以上の全学委員会等または4件～6件の部局内委員会等を担当した。 【3：水準に達している】 過去3年間で1件以上の全学委員会等または2件～3件の部局内委員会等を担当した。 【2：改善の余地がある】 過去3年間で1件の委員会等を担当した。 【1：問題があり改善を要する】 過去5年間に委員会等の担当はなかった。
		入試業務に係わる活動状況	0.2	【5：特に優れている】 入試業務を6件以上担当した。 【4：水準を上回っている】 入試業務を4件～5件担当した。 【3：水準に達している】 入試業務を2件～3件担当した。 【2：改善の余地がある】 入試業務を1件担当した。 【1：問題があり改善を要する】 入試業務を担当しなかった。
		入学・進学志願者増加に係わる活動状況	0	【5：特に優れている】 実績のある場合はその他の管理運営業務で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】
		就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	0	【5：特に優れている】 実績のある場合はその他の管理運営業務で評価する。 【4：水準を上回っている】 【3：水準に達している】 【2：改善の余地がある】 【1：問題があり改善を要する】
		その他の管理運営業務	0.2	【5：特に優れている】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、前年度特筆すべき活動を3件以上行った。または、入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援に相当する活動が過去3年間で3件以上あった。あるいは、両者の合計が3件以上あった。 【4：水準を上回っている】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、前年度特筆すべき活動を2件行った。または、入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援に相当する活動が過去3年間で2件あった。あるいは、両者の合計が2件あった。 【3：水準に達している】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、前年度特筆すべき活動を1件行った。または、入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援に相当する活動が過去3年間で1件あった。 【2：改善の余地がある】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、前年度特筆すべき活動を行わなかった。また、入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援に相当する活動も過去3年間でなかった。 【1：問題があり改善を要する】 上記の評価項目以外の管理運営業務において、これまで特筆すべき活動を行なったことがない。また、入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援に相当する活動もこれまで行ったことがない。

※評価項目は全学業績評価委員会の承認を得れば追加できます。追加を希望する場合は朱書きで評価項目を記載し、全学業績評価委員会に提出ください。